

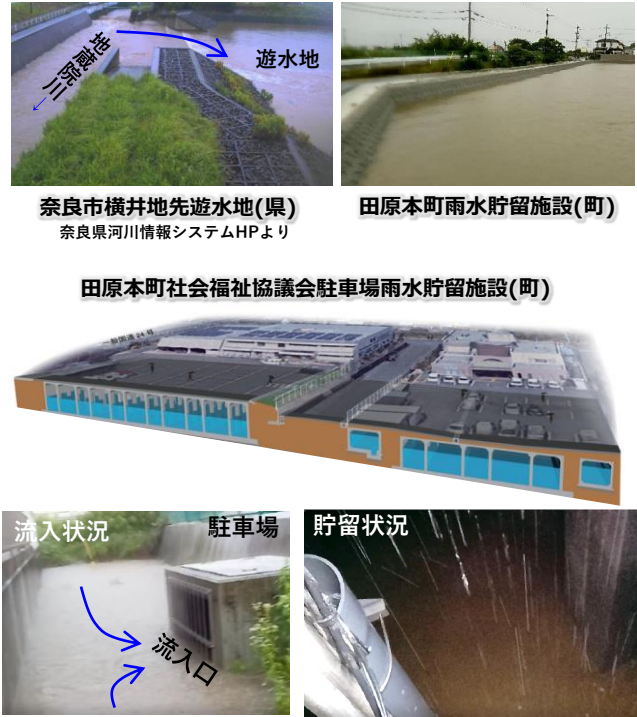
河川の流域治水対策により、浸水被害を軽減する（奈良県奈良市・北葛城郡王寺町・生駒郡三郷町・磯城郡田原本町等）

国土交通省 大和川河川事務所
事業者：大和川流域自治体（奈良県域）

河川整備の状況



貯留施設の状況



対策名：1-1 流域治水対策（河川）

主たる施策グループ： 1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）

事業名： 大和川 流域治水整備事業など

- ポイント**
- 河道掘削・遊水地等の河川整備、貯留施設整備、ため池の治水活用等の流域全体での治水対策を実施
 - 大雨による浸水被害を大幅に軽減

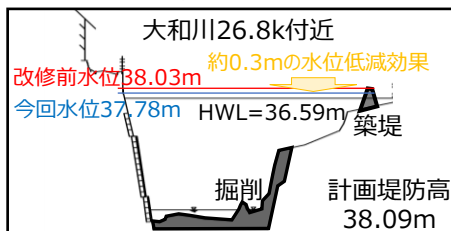
地域の概要・課題

大和川(奈良県域)は、奈良盆地の低平地を流れており、狭窄部から放射状に広がる156本の支川が本川に集中するなど、水害が発生しやすい特性を有しています。また、高度経済成長期の急激な都市開発等によって水田やため池などが減少、保水機能が著しく低下し、都市型水害が頻発しており、水災害への対応が求められました。令和3年12月には特定都市河川に指定するとともに、大和川流域水害対策計画を策定し、関係者が協働して流域治水の本格的実践に取り組んでいます。

事業の概要

大和川水系では、河道掘削・遊水地等の河川整備に加え、貯留施設整備やため池の治水活用等の流出抑制対策など、流域治水の取組を実施しました。

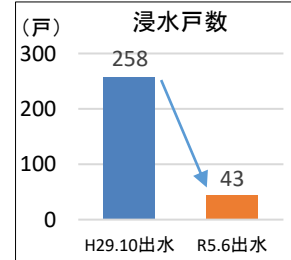
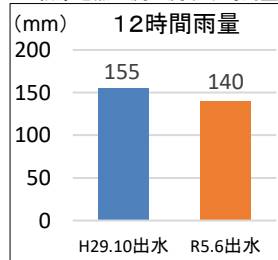
令和5年6月梅雨前線による大雨での水位低減効果



効果

令和5年6月梅雨前線による大雨では、大和川流域で平成29年10月出水と同規模の雨量を記録しましたが、河道掘削や遊水地・雨水貯留施設の整備など、流域全体での治水対策により、浸水戸数が大きく減少しました。

※柏原地点上流の流域平均雨量



沿道の浸水状況<H29.10時点>



沿道の浸水状況<R5.6時点>



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高連動情報化の予測、収集・集積